

<研究名称>

急性期ベッドサイドでのタブレットオーディオメータによる聴力評価の有用性

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者 所 属 リハビリテーション
職 名 技師長
氏 名 木村 和久

実施担当者 所 属 リハビリテーション
職 名 係長
氏 名 中澤 肇

<研究期間>

倫理委員会承認後～3 年間

<診療・研究の目的>

急性期における患者の ADL は著しく低下しており、ベッドサイド安静のことが多い。また、リハビリ対象患者の多くが高齢者であり、難聴を呈し、コミュニケーションに支障をきたしている場合がある。ベッドサイドで負担なく聴力評価を実施し、コミュニケーション能力の評価と改善に繋がることが可能かを検証する。

<実施内容（方法）>

①ベッドサイドでの簡便な聴力検査が可能か（急性期ではベッド上安静や体調不良により聴力検査室まで移動するのが大変であるため）、②コミュニケーション能力に直結する語音弁別能力はどの程度か、③コミュニケーション能力の改善方法があり、繋がられるか（自覚の有無、改善意欲、補聴器装用のニード）

以上の3点を確認するため、

①に関しては、聴力検査可能な認知機能を持つ10名程度の患者（難聴も含む）にベッドサイド（タブレット式オーディオメータと遮蔽式ヘッドフォン使用）と防音室で気導純音聴力検査を行い、相関を調査する。②に関してもベッドサイドと防音室で語音弁別検査を実施する。ベッドサイドでは騒音計とCDによる音声を用いる。③に関しては、聴力低下の自覚の有無、改善意欲の有無、補聴器装用のニードなどの簡単なアンケート実施する。

<危険性（副作用）等>

特になし

<倫理上問題になると考えられる事項>

データ提示により個人が特定されないよう、氏名などの個人情報は一切記載しない

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院

リハビリテーション

TEL 0166-22-8111

FAX 0166-24-4648